

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 31 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・H24/1/17 18:42 セシウム吸着装置を起動。18:45 定常流量に到達。
- ・H24/1/29 12:06 第二セシウム吸着装置を起動。12:18 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/30 16:05～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/30 16:12～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・1/31 10:00～16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (1/31 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 4,133 mm(水位上昇累計:5,350 mm) 1/30 7:00 から 126 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,394 mm(水位上昇累計:3,120 mm) 1/30 7:00 から 150 mm 上昇

・1/31 9:35～15:33 集中廃棄物処理施設において、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋へたまり水の移送を実施。

◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/31 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.<+ 850 mm (1/30 7:00 と同じ)	O.P.+ 2,771 mm (1/30 7:00 から 19 mm 上昇)	O.P.+ 4,226 mm (1/30 7:00 から 6 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 3,063 mm (1/30 7:00 から 22 mm 下降)	O.P.+ 3,036 mm (1/30 7:00 から 20 mm 下降)	O.P.+ 3,205 mm (1/30 7:00 から 18 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,027 mm (1/30 7:00 から 5 mm 下降)	O.P.+ 2,946 mm (1/30 7:00 から 9 mm 上昇)	O.P.+ 3,244 mm (1/30 7:00 から 2 mm 上昇)
4号機	—	O.P.+ 2,959 mm (1/30 7:00 から 3 mm 上昇)	O.P.+ 2,981 mm (1/30 7:00 から 8 mm 下降)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第二 1,2 号機放水口南側約7km	1/30	8:10	ND	0.02	0.02

・その他福島県沖合 5 地点(1/29 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

なお、福島県沿岸 3 地点は、悪天候のため採取中止。

<使用済燃料プールの冷却> (1/31 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中*1	13.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	12.5 °C
3号機	循環冷却システム	運転中*2	16.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	28 °C

*1 システム二次系エアフィンクーラー:停止中, *2 システム二次系冷却塔:停止中

【2号機】・1/19 11:50～ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。

【3号機】・1/14 15:18～ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。

<原子炉压力容器への注水・原子炉の状況> (1/31 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約5.8m ³ /h, 炉心スプレイ系:約0.9 m ³ /h)	24.3 °C	24.7 °C	106.3 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約5.0m ³ /h, 炉心スプレイ系:約4.0 m ³ /h)	45.8 °C	50.4 °C	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約5.0m ³ /h, 炉心スプレイ系:約4.0m ³ /h)	42.6 °C	52.0 °C	101.6 kPaabs

【1号機】・1/30 22:15 原子炉への注水量に低下が確認されたため、炉心スプレイ系からの注水量を約0.5m³/hから1.0m³/hに調整(給水系からの注水量は約5.8m³/hで注水継続中)。

【2号機】・1/31 10:50 原子炉への注水量について、給水系からの注水量を約6.6m³/hから約5.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約2.8m³/hから約4.0m³/hに変更*。

【3号機】・1/31 11:00 原子炉への注水量について、給水系からの注水量を約6.2m³/hから約5.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約2.8m³/hから約4.0m³/hに変更*。

※原子炉注水の信頼性向上に伴う高台炉注水ポンプの注水ラインについて、ポリエチレン管への引替が完了したことから、段階的に原子炉への注水量をについて変更しているもの。

【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

<その他>

・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を継続実施中。
 ・H24/1/11～ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む水溜まりの発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。
 ※日々の点検結果については別途参考配布資料を参照

・H24/1/30 昨日(1/30)に本資料にてお知らせした以降、1/31 15:00 迄に新規で確認した水漏れは以下の通り。
 ・常用高台炉注水ポンプ(B)入口のろ過水側の配管の弁箱(1/30 15:15 頃発見) ろ過水*:約600リットル
 ・蒸発濃縮装置3Aシール水冷却器出口ラインフランジ部(1/30 15:20 頃発見) ろ過水*:約10リットル
 ・蒸発濃縮装置用ボイラ(A)凝縮水戻りラインのフランジ部(1/31 9:05 頃発見) ろ過水*:約20リットル
 ・No.2 ろ過水タンクに接続された弁のボンネットねじ込み部(1/31 14:30 頃発見) ろ過水*:約20リットル
 ※ろ過水:ダムより取水した水

・H24/1/31 9:18～ 6号機サブドレン水について一時保管タンクへの移送を開始。今後、適宜仮設タンクへ移送予定。

以上